

現場からの発信シリーズ！

上京アイアイハウス

今回は上京アイアイハウスに2017年に入職した新任職員の声をお届けいたします。アイアイハウスで働いてみて…感じることなどを語り合っていました！



職員のみなさんのコメント
楽しみだな～



進行役
丸山徹 4年目

松盛一博
2017.1入職

河本千佳世
2017.4入職

西村拓哉
2017.4入職

藤井希恵
2017.1入職

丸山 今日には新任職員の皆さんにアイアイハウスに入職されてからの思いについてお聞きしたいと思います。みなさん、まずは入職されていかがですか。

●アイアイハウスに入職して思うことは…？

松盛 前職は高齢者施設で介護の仕事をしていたのですが、こちらに来て若い仲間が多くてすごく元気で明るいなと思いました。特に今年は高校を卒業したばかりの仲間が4名入られたことで、よりそう感じたのかも知れません。それと、仲間のみんなが日々成長されていることを実感しています。来所された当初は靴をリュックの中に入れて、それを背負ったままフロアにも入れなかった仲間が、徐々にフロアに入ることができるようになり、次は靴を靴箱に入れることができるようになり、つい最近では、一日中背負っておられたリュックをロッカーに入れて過ごせるようになりました。そういうことに接しているとやり甲斐を感じますし、私自身、笑顔が増えたと思います。楽しい職場です。

藤井 松盛、いつも仲間と楽しく会話されたりして本当に楽しく過ごされていますよね！

松盛 はい。(笑) 自然と笑顔があふれますね。



藤井 私は去年の1月に入職しました。最初は仲間とどう接すればいいのかわからないこともありました。仲間の方と少しずつ慣れていければいいかなと思っていました。でも、なかなかうまくいわずに焦るようになってしまいました。仲間はよく見ておられて、私が焦ると余計に離れていかれる感じがあって、不安でいっぱいでした。でも先輩職員の方に支えていただいて、不安で沈みかけた気持ちも消えていきました。今は、仲間の好きなことなどもわかってきて、仲間も私のことをわかってくださっているなと思えるようになり楽しく過ごしています。これからもいっしょに時間を過ごして、仲間のいろいろなことをどんどん知っていきたいと思っています。

丸山 西村さんはどうですか。

西村 はい、そうですね。

僕は、去年の4月に入職しました。前職は精肉店で働いていましたが、直接人と接する仕事だったので、福祉と少し通じるものがあるのかなと最近思うようになりました。福祉の分野に転職した理由は、たまに来店されていた目の不自由なお客様との出会いでした。そのお客様から「西村くんは、いつもいろいろお肉の相談にのってくれてありがたいよ」と言ってくださったことがあります。「なんでですか？」と尋ねたら、「私にはお肉の色とかが見えてないから、「きれいですよ」とか言葉で説明してもらおうと目に見えないけど頭に浮かぶから」と言って下さって、そのときにきちんと伝えることが大事なんだということに気づいたんです。それまでそういうことを気にしたことがなかったなと思いました。それで、障害のある方を支援することに興味がわき、いろいろ調べて社会福祉士の資格を取り、福祉の現場は自分に向いているような気がすると思って転職しました。

丸山 そうだったんですね。障害のある方と接する機会は僕自身もアイアイハウスへ来るまで少なかったな…。